屋久島世界自然遺産地域管理計画の構成と主な改定作業のイメージ

資料３－２

1．はじめに
2．目的

・対象範囲の設定

3．遺産地域の概要
（1）位置等
（2）総説
（3）自然環境（ア．地形・地質　イ．気候　ウ．植物　エ．動物）
（4）社会環境（ア．歴史　イ．利用状況　ウ．産業　エ．土地所有形態）
（5）遺産地域内における保護制度等

・遺産の普遍的価値の記載
・情報のリバイス
・地図、表の追加
・４（２）管理の現状を３（６）に移行

4．管理の基本方針
（1）管理の目標
（2）管理の現状
（3）管理にあたって必要な視点

・管理の現状（現行A4半ページ）を主要な課題別にもう少し詳細に
→３（６）に移行
・必要な視点：視点と内容の追記修正

現行計画に基づく取組状況の評価

ア．生態系等の統合的・順応的な管理
（ア）生態系等の統合的な管理
（イ）生態系の順応的管理

イ．広域的、長期的な管理
（ア）広域的な視点による管理
（イ）地域・地球レベルでの調査研究・モニタリングフィールド

ウ．生態系や自然景観の保全を前提とした持続的な利用

エ．森林と人とのかかわりの歴史を踏まえた管理

イ．地域との連携協働

・「これまでの取組」を追記しつつ、リバイス（小笠原参考）
・（３）行政の体制を６に移行

5．管理の方策

(1)生態系と自然景観の保全
・生態系の保全
・自然景観の保全
・外来種や病害虫等への対応

(2)自然の適正な利用
・利用の適正化
・主要な登山道や地域ごとの利用方針
・施設整備・管理
・エコツーリズムの推進

(3)関係行政機関の体制

(4)調査研究・モニタリング及び巡視活動

(5)地域との連携・協働

(6)環境教育、情報の発信と普及啓発

6．計画の実施その他の事項
（1）計画の実施
（2）計画の見直し
（3）資金

★見直しの視点
・特定エリアの考え方を追加
・ヤクシカ対策の情報発信等

★見直しの視点
・山岳部ビジョン、エコツー全体構想と連動
・安全管理、インバウンド、ガイドの役割、保護と利用の好循環、官民連携、空港計画

★見直しの視点
・地域住民の参画
・具体的なアクション

★見直しの視点
・環境文化財団
・学校との連携
・民間との連携
・島民、島外への情報発信
・小杉谷と林業遺産、山岳信仰